

東日本大震災・原子力災害伝承館 館内語り部講話スケジュール

10月	午前 ①10：00～ ②11：15～	午後 ③13：15～ ④14：30～
1 木	原発事故の後で学校・子どもたちに起きたこと（南相馬市）	長い避難生活を支えた励ましの数々（富岡町）
2 金	『残照』～震災の記憶～（相馬市）	東日本大震災原発事故により避難した体験をダンボールアートを通して語り伝える（富岡町）
3 土	生きのびるために（双葉町）	“東日本大震災と原発事故”-そして今-（双葉町）
4 日	震災紙芝居（浪江町）	東日本大震災 娘との日々（富岡町）
5 月	震災発生から全町避難を振り返って（富岡町）	震災当日の行動と教訓及び災害への備えと、命を守る行動（いわき市）
6 火	休 館 日	
7 水	東日本大震災と避難生活の実態（浪江町）	東日本大震災一あの日から15年が過ぎて（南相馬市）
8 木	震災経験とその後の活動（南相馬市）	あの日から13年間の久之浜町 そしてこれからは…（いわき市）
9 金	役場職員 震災直後の5日間（浪江町）	原発から25キロに住む1人として（南相馬市）
10 土	震災・避難・現在の歩み（富岡町）	あの日を忘れない～私の震災の記憶と教訓～「あの時」と思うこと（南相馬市）
11 日	紙芝居『菜の花物語』（南相馬市）	自分の命を守る（いわき市）
12 月	私の震災体験とそれから「仙台港での大津波、多賀城の職場、相馬の実家、そして大切な家族」（相馬市）	震災当日の行動と教訓及び災害への備えと、命を守る行動（いわき市）
13 火	休 館 日	
14 水	震災経験とその後の活動（南相馬市）	福島第一原発事故における病院避難について（東京都※本人の被災体験ではなく聞き取りした内容です）
15 木	震災時の体験と伝えたいこと（大熊町）	防災意識を高めよう。みんなと、自分を！（南相馬市）
16 金	伝統文化存続の危機と伝承（双葉町）	『残照』～震災の記憶～（相馬市）
17 土	10：00～ 震災後の2日間とその後（大熊町） 11：15～ 震災・原発事故から復興へ（大熊町）	13：15～ 震災後の2日間とその後（大熊町） 14：30～ 震災・原発事故から復興へ（大熊町）
18 日	原発から25キロに住む1人として（南相馬市）	“東日本大震災と原発事故”-そして今-（双葉町）
19 月	あの日震災から学んだこと（富岡町）	双葉の子どもたち（双葉町）
20 火	休 館 日	
21 水	震災経験とその後の活動（南相馬市）	あの日を忘れない～私の震災の記憶と教訓～「あの時」と思うこと（南相馬市）
22 木	東日本大震災と避難生活の実態（浪江町）	防災意識を高めよう。みんなと、自分を！（南相馬市）
23 金	役場職員 震災直後の5日間（浪江町）	「当たり前」はない（大熊町）
24 土	変わりゆくふるさと それでも前を向いて（双葉町）	東日本大震災原発事故により避難した体験をダンボールアートを通して語り伝える（富岡町）
25 日	置き去りにされた動物（浪江町）	自分の命を守る（いわき市）
26 月	私の震災体験とそれから「仙台港での大津波、多賀城の職場、相馬の実家、そして大切な家族」（相馬市）	東日本大震災から考える防災と社会課題（大熊町）
27 火	休 館 日	
28 水	東日本大震災一あの日から15年が過ぎて（南相馬市）	紙芝居で伝えたいこと（浪江町）
29 木	あの日から13年間の久之浜町 そしてこれからは…（いわき市）	東日本大震災 娘との日々（富岡町）
30 金	伝統文化存続の危機と伝承（双葉町）	原発事故の後で学校・子どもたちに起きたこと（南相馬市）
31 土	『残照』～震災の記憶～（相馬市）	生きのびるために（双葉町）

※タイトル横の（ ）内は語り部の震災当時の居住地です。

※スケジュールは2026/10/7現在のものです。

やむを得ない事情により、変更・中止、講話映像の上映となることがあります。